

母子健康手帳等に関する意見を聞く会

父親・父親支援から考える

NPO法人ファザーリング・ジャパン 顧問
大阪教育大学教育学部家政教育部門 教授
小崎 恭弘

Fathering Japan

NPO法人ファザリング・ジャパン

Fathering=父親であることを楽しむ



笑っている
父親になろう。

Fathering Japanは、父親支援事業による「Fathering」の理解・浸透こそが、「よい父親」ではなく「笑っている父親」を増やし、ひいてはそれが働き方の見直し、企業の意識改革、社会不安の解消、次世代の育成に繋がり、10年後・20年後の日本社会に大きな変革をもたらすということを信じ、これを目的（ミッション）としてさまざまな事業を展開していく、ソーシャル・ビジネス・プロジェクトです。

団体概要

設立 2007年 NPO法人取得
代表 安藤哲也
顧問 小崎恭弘
理事 高祖常子・棒田明子他10名
会員 約300名

- ・ 関連NPO

FJ東北・関西・中国・九州

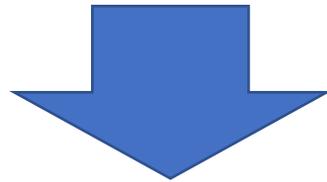
- ・ 支部 北海道、新潟、東海、ちば、滋賀、沖縄、信州、多摩

○活動内容

- ・ 父親支援活動
パパスクール
プレパパセミナー
- ・ 企業支援
イクボス講演会、企業同盟
男性育休推進
- ・ 社会、自治体事業
調査研究、シンクタンク
全国府オーラム

父親を取り巻く環境

- 長時間労働・通勤等の企業文化の中で育児がしにくい状況である
- 男女共同参画、家庭科教育などの背景の中で、育児に対する意識は以前より高い傾向にある
- 女性活躍推進、ワークライフバランスなど、企業内から父親に対する意識の変化が起きている



父親たちの生活環境、職業環境、家庭環境の多様化が進展している
「父親」の再定義や単一の父親、家族の支援が困難な状況にある

父親支援の必要性

1. 父親が子育てについての正しい知識や理解、価値観を得られるように 父親をエンパワーメントする。
2. 父親が母親とのパートナーシップについて理解し、夫婦ともに子育てができるようにする。
3. 父親が仕事や、生活、家庭、地域との良いかかわりができるように、ワークライフバランスを意識した生活者になれるようにする。
4. 父親自身が積極的に育児や家庭生活の主人公として暮らしていける ように、地域社会の環境に対して関わりやネットワークができるようにする。

1. エンパワーメント
2. パートナーシップ
3. ワークライフバランス
4. ネットワーク

これらの価値は

- ・ 子育て支援のこれまでの価値観の発展として位置づけられる
- ・ 子育てから働き方を含めた、生き方の支援と社会の変革の意識
- ・ 子育てから遠い存在を身近に引き寄せる、ロジックと文化の転換

子育ての良いスタートは妊娠期にある

赤ちゃんの生活と育ちを追う～乳幼児の生活と発達に関する縦断研究の挑戦～

ベネッセと東京大学発達保育実践政策学センター
Cedepの共同研究より

https://berd.benesse.jp/feature/focus/21-babysympo/activity01/page_2.html

・子育て肯定感、子育て否定感との関連

側面	項目例
子育て肯定感 ※α係数: 母親.76 父親.73	充実している
	自信がもてるようになってきた 等、5項目
子育て否定感 ※α係数: 母親.75 父親.70	子どもがうまく育っているか不安になる
	重荷を感じる 等、5項目

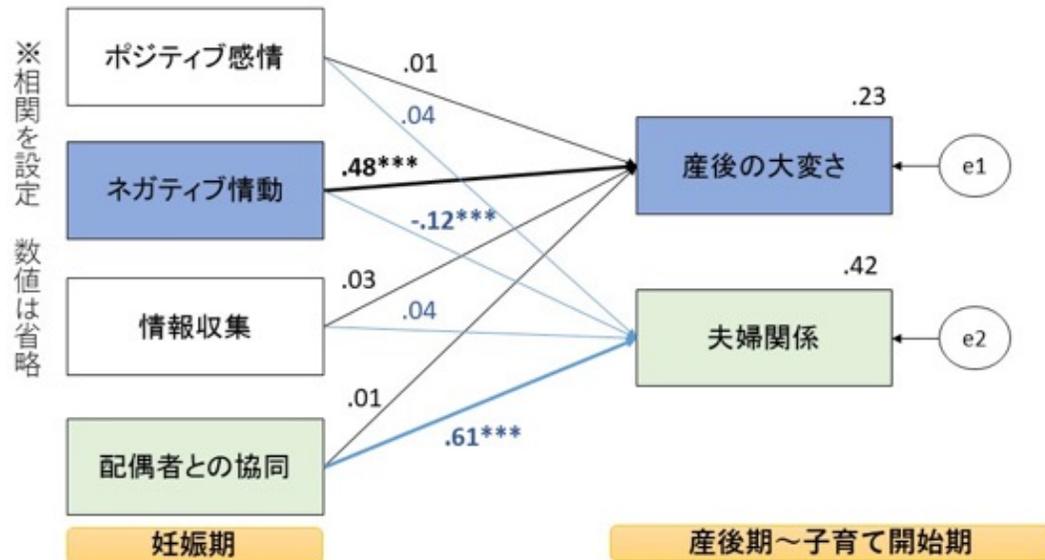
・夫婦関係との関連

側面	項目例
夫婦関係 ※α係数: 母親.91 父親.89	あなたと配偶者は幸せな結婚生活を送っている
	配偶者といると本当に愛していると実感する
	あなたと配偶者は子どもをどう育てるかについてよく話し合っている
	あなたと配偶者は子育てや家事をよく助け合っている 等、9項目

妊娠期から母親・父親両方の不安を軽減し夫婦で支え合える支援が重要

3) 子育て開始期との関連 (母親)

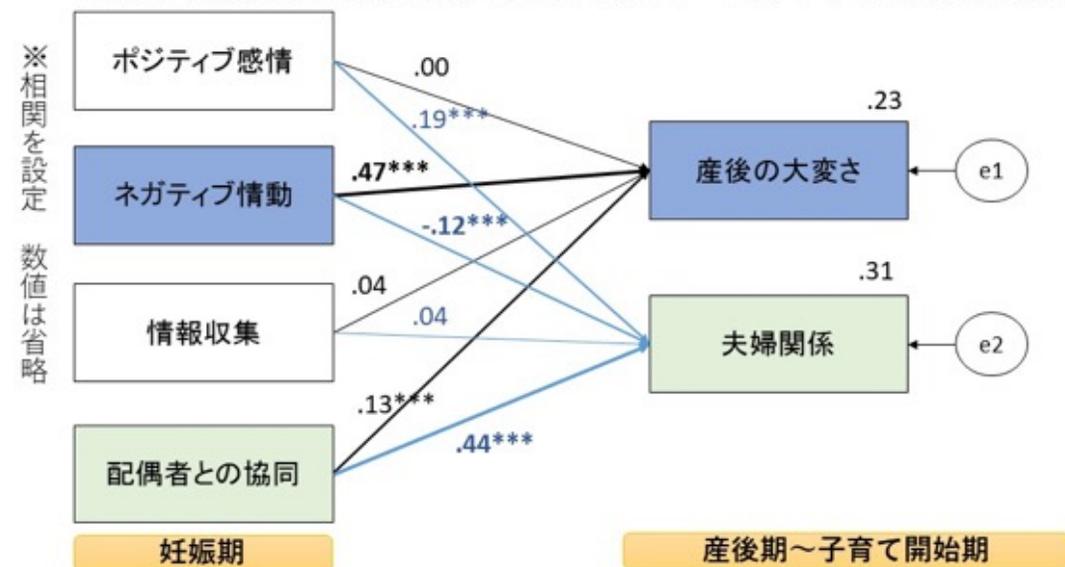
- 妊娠期の不安は、産後の大変さを強め、配偶者との協同は夫婦関係を強める



*** p<.001 CFI=.998 RMSEA=.041

3) 子育て開始期との関連 (父親)

- 妊娠期の不安は、産後の大変さを強め、配偶者との協同は夫婦関係を強める。ただし、配偶者との協同と産後の大変さも関連⇒コミットすると大変さも経験?



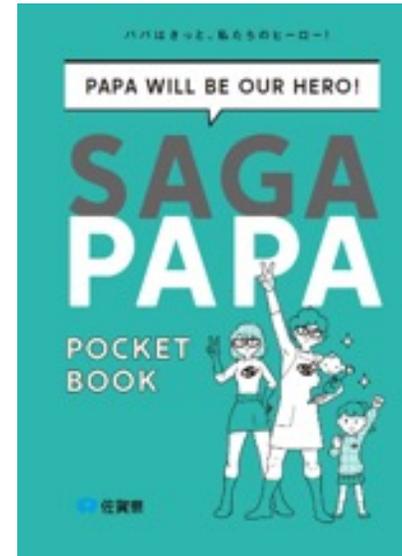
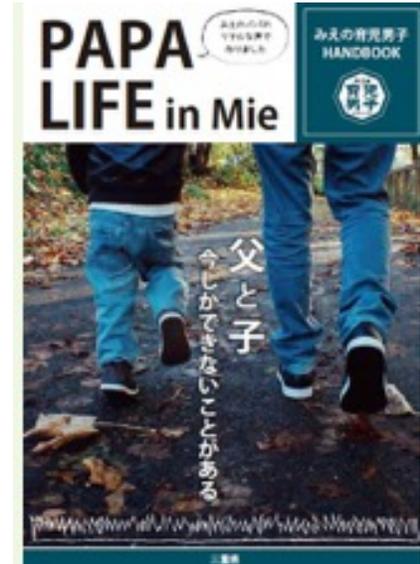
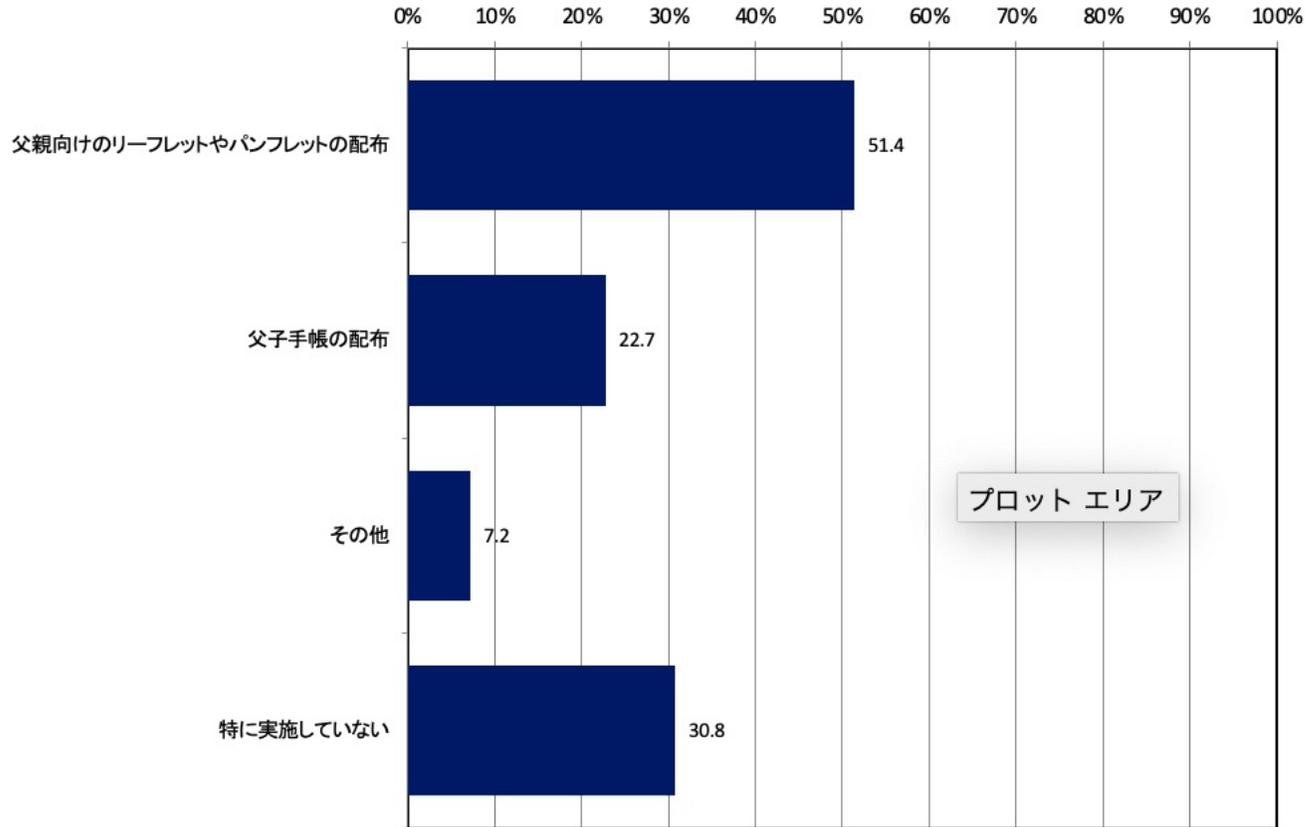
*** p<.001 CFI=.998 RMSEA=.048

妊娠期からネガティブに捉えていた場合は、子育て開始期の大変さも強くなっています。
また、妊娠期における配偶者との協同は、産後期～子育て開始期における夫婦関係とかなり強い関連が見られます。

父子手帳の取り組み

【Q1_1①】 通常の母子保健事業において、父親への支援はどのように実施していますか。①母子健

康手帳交付
(N=809)



2020年 全国自治体母子保健担当調査より (厚生労働省科研)

イクメンプロジェクトより

FJから母子健康手帳のあり方について

- 父親を育児の主体として位置付ける
- パートナーとの共同の取り組み（チーム我が家）を意識する
- 妊娠期の子育て、夫婦関係の重要性を伝える
- 妊娠、出産に父親を主体的に関われる工夫と仕掛け
- 「母子」のみにせず、父親を除外しない視点の導入

現在の母子手帳の父親項目

<このページは妊婦自身で記入してください。>

妊婦の健康状態等

妊娠	身長	cm	ふだんの体重	kg	結婚年齢	歳
	BMI		BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m) (体格指数)			

○次の病気にかかったことがありますか。(あるものに○印)

高血圧 慢性腎炎 糖尿病 肝炎 心臓病 甲状腺の病気
 精神疾患 (心の病気) その他病気 (病名)

○次の感染症にかかったことがありますか。

風しん (三日はしか) (はい (歳) いいえ 予防接種を受けた)
 麻しん (はしか) (はい (歳) いいえ 予防接種を受けた)
 水痘 (水ぼうそう) (はい (歳) いいえ 予防接種を受けた)

○今までに手術を受けたことがありますか。

なし あり (病名)

○服用中の薬 (常用薬) ()

○家庭や仕事など日常生活で強いストレスを感じていますか。

はい いいえ

○今回の妊娠に際し、過去の妊娠・分娩に関連して心配なことはありますか。

はい いいえ

○その他心配なこと ()

○たばこを吸いますか。

いいえ はい (1日 本)

○同居者は同室でたばこを吸いますか。

いいえ はい (1日 本)

○酒類を飲みますか。

いいえ はい (1日 程度)

※喫煙と飲酒は、赤ちゃんの成長に大きな影響を及ぼしますので、やめましょう。

◎妊娠中の夫・パートナーの役割

妊婦の心身の安定には、夫や家族など周囲の理解や協力が必要です。妻をいたわり、ねぎらい、家事を積極的に行いましょう。妻の妊娠期間の約10か月は、妻本人や夫・パートナーにとっても「親」として育てていく大切な準備期間です。この時期に、ふたりにとって子どもとはどんな存在か、親になるとはどういうことなのかなど、じっくり話し合ってみましょう。また、お産の時や産後の育児で夫がどのような役割を持つのか、妊娠中からよく話し合い、準備しておきましょう。

- ・ 父親を母親のサポートとして位置付けている
- ・ 父親自身への配慮 (産後うつ・育児不安) はなされてはいない

夫の健康状態 健康 よくない (病名)

FJからの具体的な提案

- 父親の参画を意識した名称の検討
- 父親に関する記載ページの追加
- 妊娠期、出産時の父親の記録項目の検討
- 父親の産後うつ等父親支援についての記載
- 帝王切開等出産などの理解の促進
- 出産前診断等の記載
- 産後の2ヶ月のパートナーとの過ごし方の記載
- 男性の育児休業の促進
- 別冊父子健康手帳の作成
- 家庭科教育での教材としての活用